

新しい鳥獣被害の対策方法があります！



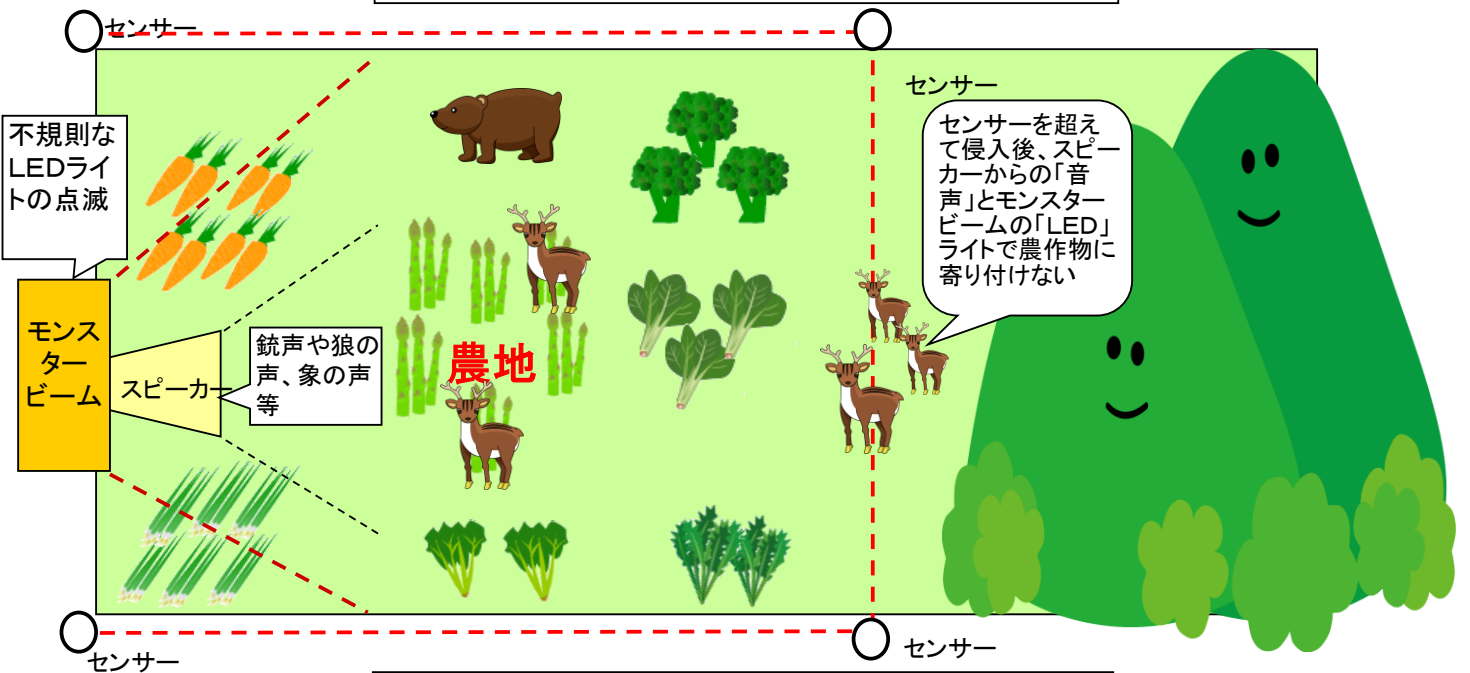
●鳥獣被害額について●

農林水産省が発表した2011年度の野生鳥獣による農作物被害状況調査では、被害総額は**226億円**となっており、獣種別の被害額内訳は**シカが83億円で前年より5億円(7%)増加**し、イノシシは62億円で同6億円(8%)、サルが16億円で同2億円(13%)いずれも減少しました。被害額に占める割合は、**シカが45%、イノシシが34%、サルが9%**で、この**3種で87%**を占めます。

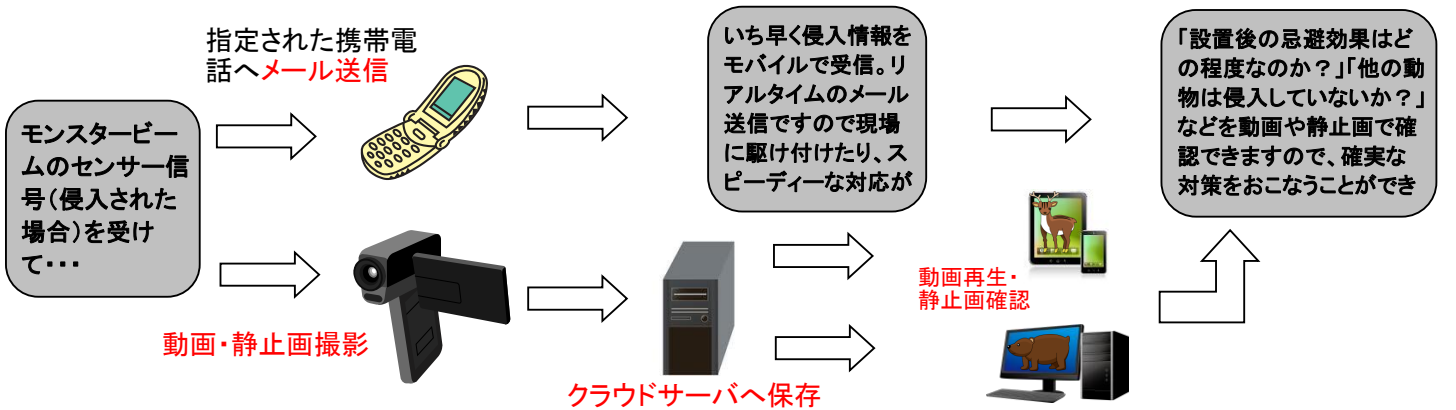
また、鳥類の被害では、**カラスの被害が22億円で同8千万円(3%)減少**。被害額に占める割合は52%に達します。ヒヨドリは3億円と同8億円減少しました。被害額の減少について農水省鳥獣災害対策室では「各地で取り組んでいる捕獲や防止柵の設置、追い払いなどの効果が出ているようだ」とのコメント。シカの被害は北海道が一番多いが、対策が効果を上げている市町村もあるなか、対策が遅れているところで被害が拡大してしまいました。

そうならないために……柵も不要、銃も不要、人手も不要の新対策→「**モンスタービーム(LED鳥獣忌避装置)**」

モンスタービームのシステムイメージ



カメラクラウドシステムの構成イメージ



「モンスタービーム&セキュアカメラクラウド」導入メリット

- ①モンスタービーム設置で「音」と「光」で対象動物を寄せ付けません→薬剤も柵も銃も使わない
- ②セキュアカメラクラウドを加えることにより、「どの動物(シカなのか?クマなのか?)が対象なのか?」を画像で判断できます。
- ③設置後の時間経過とともに変化する環境(効果測定、動物の種類、出没時間、頭数等)を容易に画像で記録を残せます。
- ④長時間にわたる検証もすべてデータ化することにより、各研究機関や行政機関の方に対しての証明(画像)が可能です。
- ⑤携帯端末利用で「メール通知」や「記録画像」を簡単に確認することができます。